



# 姉妹都市締結20周年 記念式典をヘンダーソンビル市にて



都留市はテネシー州ヘンダーソンビル市と姉妹都市を締結し21年目を迎えました。昨年20周年記念式典をヘンダーソンビル市にて行う予定でした。しかし9・11のテロやSARS問題などにより延期になっていましたが、5月19日より9日間の日程で澤田友好委員会会長を団長とし、小林市長、一般公募者などで結成された総勢22名で念願の6回目の公式訪問団を派遣することができました。ヘンダーソンビル市では大変な歓迎を受け、無事に20周年記念式典も盛大に開催され、友情の絆はさらに揺るぎないものとなりました。

特に団長をつとめている澤田友好委員会会長は海外旅行が今回を含め7回ありますが、そのすべてがヘンダーソンビル市というところで、日本一ヘンダーソンビル市が好き日本人であり、まさに第二の故郷といった思いのようです。



ベッティ会長

小林市長



ホストファミリーととも

市庁舎前にて

こん・に〜ちは

## ヘンダーソンビル市が 日本一大好きな男！澤田洋一



### 友情の絆と友好の橋 (公式訪問団に参加して)

昨年、都留市とアメリカ・テネシー州ヘンダーソンビル市と姉妹都市の締結してから20周年になり、両市の交流と友好を記念し、20周年記念式典をヘンダーソンビル市にて開催する予定でした。しかしイラク戦争とSARSの問題で、1年延期しましたが今年この5月に総勢22名の団員の団長として訪問してきました。

この21年間の交流の記録を形に残したいと、両市の友好委員会が記録をたどり、「友情の絆」として、44頁にわたる記念誌を都留市の友好委員会で製作し、両市の関係機関に記念式典の中で交付しました。

公式訪問団は、5月19日に市役所など多くの関係者の皆さんに見送られ都留市を出発、ヘンダーソンビル市に到着すると、盛大な歓迎会が

催され、5日間の滞在中すべて計画通りの日程を執り行うことが出来ました。また、ヘンダーソンビル市では、20周年を記念して、市内のオールドヒッコリー湖の中洲へ通じる橋を造り、友好の橋として、市民にアピールし私達訪問団も案内され記念写真を撮って来ました。

両市の高校関係者による、学校訪問。特に桂高校の山本校長みずからのビーチ高校・ヘンダーソンビル高校の訪問では今後の交換留学や、この7月にヘンダーソンビル市より両校の生徒の受け入れについての話し合いがなされ、多大な成果を上げることが出来て良かったと思います。

また、両市の市長をはじめ、友好委員会のメンバーによる今後の交流などについての会議(サミット)や、ヘンダーソンビル市友好委員会の方々のプログレスディナーや市庁舎での小学生などの出迎え、そしてもっとも今回の重要な記念式典、続いてのさよならパーティー、どれを取ってもヘンダーソンビル市の市長さん及び友好委員会の皆さんの心温まる歓迎に感激と言葉では言い尽くせない毎日でした。

もちろん、訪問団の皆さんがホームステイをしたホストファミリーの心からの御接待も計り知れないものがありました。これらの、厚い友情を今後の堅い絆として、両市の発展につなげて行きたいと思えます。

終わりに、ここまで友好の絆で結ばれたことは、両市の関係者の献身的な貢献に深く感謝し、心より御礼申し上げます。



ヒュークア市長

澤田会長

### ヘンダーソンビル市

どんなところ？

テネシー州の首都ナッシュビルから北へ車で40分くらい。オールドヒッコリー湖という人工湖に面し、四季の変化に富み(気候は都留市と同じくらい)温暖な気候と豊かな自然に包まれた美しい所です。

高度な技術力や機器を備えた総合病院や消防局など最先端の公共施設が整い、常に高い安全性が確保されています。

また、330エーカーを誇るシティパークでは一年を通じ公園でくつろいだりスポーツを楽しむ姿がたえません。文化芸術にも力を入れ、より高い教育システムの確立を目指して活動しています。交通の利便さから商業やハイテク産業の進出も著しく、ビジネス、パカンス、家族そろっての安住の地として人々の心を引きつける魅力ある所です。



友好の橋



ヘンダーソンビル市庁舎



オールドヒッコリー湖



プログレスディナーでワキ、アイ、アイ



都留音頭と武田節披露



20周年記念誌のプレゼント

### 姉妹都市を訪ねて

桂高等学校校長 山本 紘治

本校は、今年ヘンダーソンビル市のビーチ高校、ヘンダーソンビル高校と交換留学を始めて13周年を迎えました。2001年9月のテロ攻撃という大きな出来事以来、本校からの交換留学生の派遣は途絶えています。そんな時、都留市・ヘンダーソンビル市の姉妹都市締結20周年の公式訪問団が市長、友好委員会会長を中心に編成することを知り、交換留学を復活させる話し合いのために、私も参加させていただくことになりました。ナッシュビル市のベッタタウンとして発達した市は緑豊かな田園都市で、どこか都留市に似ていました。両市長を含めた友好的な話し合い(サミット)の中で、今後の交流の共通理解と再認識をすることができたと思います。両市のこのような長く、安定した関係が築けたのは、互いの市当局の対応はもとより、友好委員会に関わっている多くの人のフロントティアの意気と持続する志があつたからだと思えます。

また、ヘンダーソンビル市をあげての取り組みは、公園の橋、記念碑設置に見られるように、確実に大きな広がりを見せていると感じました。今までの交流を通じて、築いた深い友情と信頼に基づく軌跡は、長く消えることはないでしょう。桂高校も姉妹校締結の原点に立ち返り、交換留学生の相互交流をしていきたいと考えています。最後に本校の国際教育なканずく交換留学の立ち上げから今まで友好委員会にお世話になりました。ここに改めて感謝の意を表したいと思います。

### ヘンダーソンビル市を訪ねて

土屋 京子

私は、5月19日から9日間の日程で、都留市公式訪問団の一員としてヘンダーソンビル市を訪れました。以前から興味はあつたものの、英語力のない自分では無理だろうと諦めていたホームステイ。

しかし、今回の旅は22人で行動するということが、そして何よりメンバー全員が都留の住民だという事で、大きな安心感があり、知人に誘われ参加を決めたのでした。

5日間の滞在期間中の様々な歓迎セレモニーやヘンダーソンビル市内の見学。趣向を凝らしたプログレスディナー。言葉の壁を感じながら、お互いに努力し合った日常会話。(これから勉強します)

滞在4日目には姉妹都市締結20周年記念式典があり、多くの市民の方々が参加し、和やかな雰囲気の中、大成功に終了しました。

私は今回の訪問で、様々な勉強をさせて頂いたと思っています。ヘンダーソンビル市の方々の愛情の豊かさ、純粋さ。日本人の私達が失いつつあるものを彼らは持っている。テネシー州はボランティアの州だと言われているそうです。我々、都留市民も見習わなくては...

この旅に参加しなければ、都留に住んでいるといえども、知り合えなかつたかもしれない訪問団のメンバーの方々。この出会いは、私の大切な宝物になりました。9日間、お世話になりました。そして、これからも末永いお付き合いを宜しくお願いします。

※プログレスディナー (ヘンダーソンビル市での)

①前菜の家②メインディッシュの家③デザートの家。3つの家で家庭料理が用意されており①～③の順番に家庭を回り食事をする。